

令和4年3月第1回定例会一般質問事項（2／24・25）

1 辻 人志 議員（政友会） 【一問一答】

（1）市政4期16年の総括と自己評価について

- ・まちづくりの基本理念である第二次総合計画に掲げる「6つの基本構想」に沿った市長ご自身の総括と自己評価を伺う。

（2）未来につなぐ教育行政について

- ・教育長はこの基本構想を実現するために、たゆまぬ努力をされてこられたと察するが、これまでのご自身の歩みを振り返ってのご所感を伺う。

2 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

（1）重層的支援体制整備事業 地域づくりについて

- ・本市における障害福祉サービス受給者証を取得している方は、現在何人か。
- ・過去数年の受給者証を取得している人数の推移は。増えているのか減っているのか。
- ・受給者証を取得している成人と児童の割合は。
- ・障害福祉サービスの一つで、地域活動支援センターがあるが、本市は地域活動支援センターの位置づけをどのように考えているのか。
- ・現状の地域活動支援センターのニーズ調査をして充実させていく考えはあるのか。
- ・本市に地域活動支援センターは4カ所必要と考えるが、市の所見は。

3 山田 秀樹 議員（創志会） 【一括】

（1）県の「全天候型子ども遊び場整備支援」大幅拡充の有効活用を

- ・全天候型子どもの遊び場を整備する考えはないのか。

4 川畑 孝治 議員（政友会） 【一問一答】

（1）空き家対策について

- ・空き家の維持管理も必要、取り組みは。
- ・住宅地の流動化を進めるため、家屋の解体に対する思い切った補助を、期限を決めて行っては。
- ・除去した空き家の宅地に関する固定資産税を、期限を決めて補助しては。
- ・本市の補助制度を市民・解体業者に分かりやすく伝えるべき。

（2）コロナ禍における福祉施設について

- ・コロナ禍において、福祉施設では良好な運営が行われているのか。
- ・監査時だけではなく、施設への訪問調査を行うべきでは。

（3）介護ヘルパーの確保・養成を

- ・介護ヘルパーが不足している、ヘルパー確保が必要、取り組みは。
- ・介護ヘルパーの養成には、時間と費用が必要となる、対策が必要では。

5 近藤 哲行 議員（政立会） 【一問一答】

（1）カイモンカードの拡充

- ・歩こっさは凄い人気となっているほか、免許証返納にポイントなどの企画、その他道の駅、市役所や三国病院などの来場者ポイントなどなどの企画があれば、市民は貯める喜びが溢れてくると思うがいかがか。

(2) ごみ袋について

- ・J I Sなどの規格はあるかと思うが、もう少し改善ができないか。

(3) 防犯隊隊員に身分証明書の発行

- ・全隊員に身分証明書の名札を発行できないか。

(4) これからの校則の見直し

- ・各学校などで小中と学年、年齢などは違うと思うが、校則の見直しの要望はないのか。

- ・当市は今後、校則の見直しの要望があった場合、どのような考え方をお持ちか。

(5) スクールカウンセラーについて

- ・スクールカウンセラーは日常、どのような仕事をしているのか。
- ・当市には何名の方がおられるのか。

6 渡辺 竜彦 議員（創志会） 【一問一答】

(1) 第3次坂井市福祉保健総合計画

- ・「地域福祉計画」の基本施策「お互いさまのところで支えあえる人づくり」の中で「福祉教育の推進」に取り組んでいるが、具体的にはどのように行っているのか。
- ・「地域福祉計画」の基本施策「ふれあい、支え合いの地域づくり」にある「住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくり」はどのように行っているのか。
- ・「高齢者福祉計画」の「生涯現役社会の実現に向けいきいきと暮らせるまちづくり」の主な取り組みと課題は。
- ・「障がい者福祉計画」の「地域で助け合い安心して暮らせる体制づくり」の主な取り組みと課題は。
- ・「健康増進計画」生涯学習の充実を図るためにも社会教育と地域づくり活動の更なる推進が求められるが、具体的にはどのように行っていくのか。

7 吉川 貞明 議員（政友会） 【一括】

(1) 坂井市の農業の現状と課題

- ・本市では現在、スマート農業を活用している農業者は何件あるか。
- ・本市ではこれからのスマート農業の普及推進で、見込みを何件と考えているか。
- ・本市では生産者組合または認定農業者の支援はどのようにするのか。
- ・本市では米の消費拡大についてどのようにPRするのか。
- ・農林水産業の力で坂井市をブランドアップはどうか。
- ・本市では耕作放棄地再生についてどのように考えているのか。

8 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】

- (1) 丸岡城周辺整備基本計画と一筆啓上茶屋移転における市民への説明責任を果たし、市が市民との意見交換の場を設けるべき

- ・丸岡城周辺整備基本計画と一筆啓上茶屋移転がなぜ必要なのか、移転先を含め住民が理解し納得のいく分かりやすい説明を求める。
- ・市が市民（ボランティアガイドや丸岡城天守を国宝にする市民の会や市民グループなど）との意見交換の場を設けること。
- ・一筆啓上茶屋移転の前に、丸岡城の耐震改修と雨漏りなどの修復箇所の修繕を早急に行うこと。
- ・今後、丸岡城天守の国宝化を目指す方向性・考え方は。
- ・丸岡城国宝化推進室は、今後どうなるのか。
- ・丸岡城周辺のまちづくりを市民の会に任せるのではなく、市としてのまちづくりのビジョンを持ち、市民からの声に耳を傾けるべき。
- ・城山の市の史跡指定と国の史跡指定への考え方と取り組みの説明を。
- ・令和4年度の予算に、古文書、古記録の丸岡城資料集刊行の予算が計上されている。丸岡城の認識を高める興味あるものになってほしい。市民には、どのような形で公開し、届けられるのか。

(2) 坂井市独自の返さなくてもよい奨学金制度を

- ・家庭の経済事情などに左右されず、学びたい人が十分に学べるよう、市独自の返さなくてもよい奨学金制度を求める。

9 前田 嘉彦 議員（政和会） 【一括】

(1) 放課後児童クラブについて

- ・市内における放課後児童クラブの利用者数と定員人数のバランス（通年・長期休暇時共）はどのような状況か。
- ・申し込みの際に、同じ小学校区内に居住する祖父母について就労証明書、自営業申立書、介護申立書、就労予定申立書の提出が必要となっているが、他市はどのような対応をしているのか。
- ・令和3年度までは自宅から1キロメートル以内に居住する祖父母に、上記必要書類の提出を求めていたが、令和4年度から同じ小学校区内に居住する祖父母に変更されているが、それはどのような理由からか。
- ・書類提出を求める祖父母の対象年齢が市内で一部異なっているが、なぜ統一した住民サービスとなっていないのか。
- ・他市と同様に、別居している祖父母に対して、上記必要書類提出の緩和措置を行うことはできないか。

(2) ゼロカーボンシティ実現に向けて

- ・第二次坂井市環境基本計画の推進体制の中心は市（行政）となっている。計画を推進していくには職員も意識を持って取り組んでいく必要があると思うが、職員の啓発や意識向上についてはどのような対応を行っているのか。
- ・令和12年度の人1日当たりのごみの排出量の目標値を779gとしているが、達成するためにどのようなことが必要と考えているか。
- ・令和4年度予算にごみ分別アプリシステム使用料10万円が計上されている。既存アプリの利用料のみと考えられるが、進化・発展させた利用方法などの検討は行わ

ないのか。

- ・「我が家のプラごみゼロ宣言」は市内小学校4年生を対象としたプラスチックごみ削減事業だが、まだ資源ごみ（プラスチック類）が可燃ごみに入れられているのを見ると、2050年までには全市民に浸透するような事業展開も必要ではないか。

10 佐藤 寛治 議員（政和会） 【一括】

(1) オンデマンド交通について

- ・持続可能な公共交通としてオンデマンド交通をどのように考えているのか。
- ・オンデマンド交通の運行により、えちぜん鉄道、JRなど本市の公共交通網をどのように考えているか。

11 三宅 小百合 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 地域資源を活用し稼ぐ農林水産業の支援を

- ・地域資源を活用した6次産業化の推進を。
- ・6次産業化コーディネーターの起用を。
- ・魅力ある商品開発のためのテストキッチンの整備を。
- ・小さな起業を支援できる体制づくりを。
- ・女性が活躍できる体制づくりを。
- ・売れる商品開発とプロモーション支援を。
- ・地域ブランドの確立で地域の魅力向上を。

12 永井 純一 議員（公明党） 【一括】

(1) 新リーダーに望むこと

- ・次の坂井市政を担う方に望むことは何か。

(2) 健康予防について

- ・健康被害から市民を守るために、ラジオ体操や坂井市独自の体操を活用し、また、健康ポイント付与など毎日楽しく続けられる工夫をし、「毎日体操で健康長寿さかい」などと銘打ち、市民運動を展開したらどうか。

(3) 教育について

- ・本市の学校教育の現状をどのように感じているのか。今後、何をなすべきか、あるべき姿をご教示願いたい。
- ・コロナ感染症対策として小中学校（保育施設も）の水道の蛇口を自動水栓化にしたい。

13 松本 朗 議員（日本共産党議員団） 【一括】

(1) 人口減少社会、空き家対策を抜本的に強化することを求める

- ・空家除却支援事業の補助額引き上げ、事業件数の引き上げが必要ではないか。
- ・相続人が不在の場合の除却は、複雑な対応が求められる。これを放置すると、老朽家屋になる。そうなる前に市として、踏み込んだ支援が必要。法的な対応の的確な助言も必要。

- ・空き家リフォーム支援について、対象を広げること。高齢者シェアハウスの設置など、高齢者が地域で住み続けられる住環境づくりに連動する施策でないか。
- (2) 越前三国競艇企業団の管理者・議員報酬の見直しを
- ・管理者、議員報酬について検討されたか。
 - ・管理者等の報酬を廃止または、抜本的見直しをすること。
 - ・議会議員の報酬を廃止または、抜本的見直しをすること。
- (3) 学校給食費半額に伴う、就学援助の措置は、弱者への配慮がなさすぎる
- ・就学援助事業の受給者が、学校給食半額になる支援を実質受けられないことを当然だと考える。何とかしてあげたいと考えるか。
 - ・文部科学省は、要保護児童・生徒であっても、市が、実際の給食費を超過して、補助をしてもいい（国は市に市の半額を補助する）と回答していることは、確認しているか。
 - ・準要保護、特別支援教育就学援助は、予算の減額を撤回し、給食費（食材費分）、または、その半額を援助すること。

1 4 川端 精治 議員（創志会） 【一問一答】

(1) 坂井市の戦略的な財政運営について

- ・令和4年度一般会計歳入の市税収入は、コロナ禍により依然として厳しい状況であるが、前年度対比5.8%増の123億5,620万円を見込んでいる。その根拠は。
- ・小学校大規模改修工事やスポーツ体育施設の改修工事など公共施設の老朽化対策に、合併特例債の残額44億円をどのように有効活用していくのか。
- ・まちづくり整備基金や寄附市民参画基金は本市独自の財源である。今後どのように有効活用していくのか。
- ・コロナ禍を踏まえた健全な財政運営の観点から、坂井市中期財政計画を見直す必要があると思うが所見は。

1 5 伊藤 聖一 議員（創志会） 【一括】

(1) 坂本市長が目指した坂井市の姿について

- ・16年間の市長としての苦労や経験を踏まえて、議会・議員に伝えたい想いは何か。
- ・坂本市長無くして、坂井郡4町合併は不可能であったと確信している。坂井市長が細心の注意を払い、心を砕いてきた旧4町融和の精神は合併当時と比べると市民にかなり浸透してきたと感じている。4町融和についての、市長の今の感想を伺う。